

警察関係につきましては、警察官五十五名を増員いたしますほか、捜査活動の迅速化、広域化に対処して機動力および資材、通信連絡網の強化を図るとともに、御船警察署や駐在所、派出所の改築等に要する警察施設費約一億八千七百万円を計上いたしました。

三 国土保全と災害防止

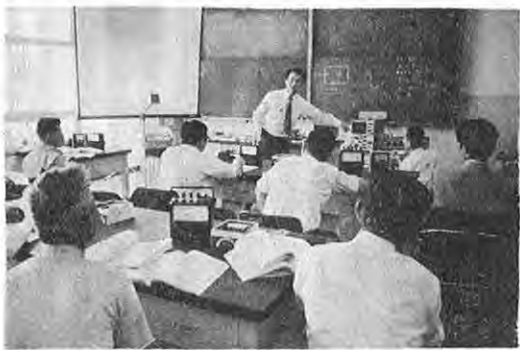
国土保全事業につきましては、四十七年度の大災害を貴重な経験として今後の対策に生かして参りたいと存じますが、近時における地域開発の進展等に伴い、保全を図るべき地域が拡大しつつありますので、公共事業の抑制とは扱いを異にし、重点的に予算を編成することといたしました。これらの事業のうち、河川整備事業につきましては、急激な市街化の伸展に対処して都市河川の改修促進を図るとともに、熊本市の主要な部分を水害から護るため、本年度から坪井川治水緑地事業に着手することといたしました。

次に、防災行政無線網の設置につきましては、完成年次を早め、四十九年度で終了することとし、約四億四千二百万円を計上するとともに、水防テレメーターの設置につきましても四千万円を計上し、災害時の緊急事態に適切に対応する態勢を整えることといたしました。また、四十メートル級のはしご付消防自動車は熊本市に設置することをはじめとして、広域化消防施設補助を中心に市町村

消防施設の整備補助金を増額することといたしましたほか、高層建築物における人命救助の訓練、危険物施設の指導取締、化学工場の高圧ガス保安対策等に必要経費を重点的に計上し、防災対策の拡充を図ることといたしました。なお、

第三 生涯教育の推進と芸術文化の振興

教育の振興につきましては、私は、本県教育の現実を直視し、今日まで教育諸条件の整備充実と教育の質の向上に最大の努力を重ねて参ったつもりであり、苦しい財政状況の下ではあります。が、四十九年度も学校教育の充実はもとより、特殊教育、社会教育、あるいは、文化、体育の振興等につき、なお一層努



▲ 研修風景

天草上島地区被災地の集団移転事業につきましては、四十八年度に引き続き集団移転費の助成費等約三千五百万円を計上し、事業の促進に資することといたしました。

めて参りたいと存じます。
(学校教育の充実)

県立学校の充実を図るため、本年四月から小川工業高校、熊本および天草養護学校が新たに開校いたしますが、更に馬見原、松島、有明および高浜の四分校を本校に昇格させ、一層の充実を図ることといたしました。また、既設高校において八学級を増設し、職業高校において二学校の学科の改編を行なうほか、特殊教育学校におきまして重複障害学級、幼稚部三才児学級を新たに増設するとともに不就学児童、長期療養中の児童生徒に対する訪問教育を拡充することといたしました。

次に、人的充実の面につきましては、小学校の三複解消、二複の緩和を国の定数改善計画の実施より早め、四十九年度の一年間で行なうこととし、このための教職員の増員を含め、養護学校、同和教育、定時制教育の充実を図るための職員等あわせて八十名の増員を行なうこととしており、この結果、単県教職員は二百

六十一名に上ることとなります。また、教育施設の整備につきましては、熊本西部地区および八代北部地区における高校の新設、熊本養護、天草養護学校の新設等に伴う校舎新築をはじめ、前年度からの継続事業を加え約五十五億五千四百万円を計上いたしました。なお、父母負担の軽減につきましては、従来から努力して参っているところですが、引続きこれを実施していくこととし、学校運営費の増額にもできるだけ配慮いたしましたところであります。

(社会教育と体育の振興)

社会教育の振興を図るため、今回新たに生涯教育の一環として高令者に対する学習の機会を設けるための講座を開設することとしたほか、四十八年度に引き続き家庭教育相談事業を拡強化いたすつもりであります。次に、体育の振興につきましては、新たに、県下中学校総合体育大会補助およびスポーツ教室開設費補助を行なうとともに、県民の健康と体力の増進を図るため自転車道を建設することとし、その第一期分として熊本市から山鹿市までの間約三十五キロメートルの建設に係る第一年度分三千万円を計上いたしました。

(私学の振興)

私立学校は、それぞれの建学の精神に基づいて特性ある教育活動を実践しているところであり、重要港湾として発足する準備が完了したところであり、

るところであります。最近における急激な社会変動によって極めて困難な時期に直面いたしておりますので、助成費を十億九千万円に増額計上し、学校経営の安定に資することにより、父母負担の軽減に努めることといたしております。

(文化財の保護)

文化財の保護につきましては、近年における各種の開発事業から郷土の優れた

文化財を守るため、県指定の文化財に標柱を設置するとともに、県下各地区に文化財パトロール員を配置することとし、これに必要な経費を計上いたしました。また、先般国指定になりました民家を保存するための費用および無形文化財を保護保存するための助成金を増額し、その他道路建設、河川改修に伴う埋蔵文化財の調査に要する経費を計上しております。

第四 豊かな社会への基盤づくり

豊かな社会への基盤づくりの基礎的條件となります。基幹的交通通信網をはじめとする公共施設あるいは産業基盤につきましては、四十九年度も長期的展望に立ち、整備に努めて参りたいと存じますが、今回の総需要抑制政策に伴いまして、在来の進度を一部抑止せざるを得ない状況にありますので、できるだけ重点的、総合的観点から事業の調整を図り、今後の基盤作りの停滞を来たさないよう努力いたす考えであります。

一 地域開発のための

主要施策の推進

(開発計画調査)

今日の都市化時代に対応するため、既存都市の整備や新都市の建設等都市問題



▲ すずむバイパス整備

の検討が必要となっておりますので、この一環として研究学園都市の構想をまとめるなど、基礎的調査を行なうことといたしました。また、地域開発の展開にあ

たり、とくに重要とされる土地利用対策につきましては、民間の大規模開発事業に対する行政指導を行なっているところであり、四十九年度においても引き続き指導を拡充することとし、開発に伴う防災措置や自然の保護など、土地利用の適正化に努めるとともに、土地利用計画について基礎的な調査を進めるつもりであります。更に、地域的な開発のため、具体的な計画調査といたしまして、先ず、西山地域について、四十七年度から熊本都市圏と有明臨海工業地帯を結ぶ幹線ルート等の調査を進めて参りました。が、四十九年度は、この地域の今後の開発方針決定のため、調査を引続き行なうことといたしましたほか、宇土半島、芦北・水俣地区についても今後の開発方向を定めるための調査を行なうことといたしました。

(高速高エネルギー交通網の整備)

高速交通網の整備のうち、先ず、九州新幹線につきましては、昨年十一月整備計画が決定し、本年秋頃には具体的なルートや設置駅について決定される見通しであり、本県としては、地域開発の観点から県内四駅設置と併せて山陽新幹線に引続き、第一段階として福岡ー熊本間を完成されるよう強く要望して参る所存であります。また九州横断新幹線

についても昨年十一月基本計画が決定され、四十九年度から調査に入るものとなっております。次に、九州縦貫自動車道につきましても、熊本以南につきましては、松橋までが五十年完成を目標に工事が進められており、松橋ー八代間については五十一年度完成を目指し、目下用地買収を進めております。また、八代ーえびの間につきまして昨年十月施行命令も出ましまして、四十九年度から調査を始めることとなっております。なお、縦貫道の流通関連施設として四十九年度にトラックターミナル・トレーラーヤードを熊本インター周辺に設置するため、道路公団と県が中心となって第三セクターを設置する予定でこれに必要な出資をいたすことといたしました。また、熊本空港関係につきましても、昭和五十年の大規模導入に対処し、現在エプロンの嵩上げ等を実施中でありますが、四十九年度中には滑走路の嵩上げと、更にA・S・R(空港監視レーダー)も設置される予定でありまして、これによって、全国屈指の整備された空港となるわけであります。

熊本港の建設につきましては、昨年十二月に地方港湾として認可され、更に一月には港湾計画が運輸大臣の承認を得ましまして、国の実施設計調査費が認められたことに伴い、重要港湾として発足する準備